

民主政治への近道

選挙くもれば
政治がくもる

県議四月二十三日
 四月八日告示
 町議四月三十日
 四月二十一日告示

県選挙管理委員会では、地方選挙参議選挙をひかえ、横行する事前運動を警告して次のような声明を発表しました。わたしたちは、このような事前運動にまどわされず、本当に「清い一票」を投じましょう。

近く行われる地方選挙または参議院議員選挙等を目標とした事前運動や、これに類する行為が増加しつつありますが、立候補届出前に行う選挙運動はすべて禁止されているところであります。

それにもかかわらず、最近ポスター等の掲示や他の会合等にかこつけて行う投票依頼や、はなはだしきは酒食の提供、物品の贈与等が行われる例が見られるようではありますが、このような不正な行為が横行することを放置することは、選挙の公正を害し、ひいては民主政治の健全な発展を阻害するものであります。

このときに當つて、われわれはこのよう不正行為を行う立候補予定者やその他関係者に対して、特に反省と自棄をうながすとともに、主権者であるわれわれ選挙民が、民主政治の本質と正しい選挙が重要であることを深く認識して、このような不正な行為に対し常に監視と批判を怠たらぬように心がけねばなりません。

また、われわれ有権者は主権者としての誇りと責任を充分自覚し、不公正な行為を行う者に対しては、峻厳なる態度で望み、われわれの政治を守るための公明な選挙の実現に一層の努力が望まれるのであります。

次に、鹿児島県下有権者百十万の方々が、一人の落伍者もないよう正しい明るい選挙の実現のために、協力されるよう切望するものであります。

以上のとおり声明します。

昭和三十四年二月十六日

す
こ
や
か
に

『入学試験』や『就活』のシーズンにはうつとおしい春がやつてくる。このようなことが思うようにゆかないために、苦しんだりあせつたりして、家出、自殺、不良化など、春は子をもつ親にとつて心配の種はつきない。春は子をもつ親にとつては、どうしたらよいだろうか、

◎ 就職や、進学をめぐることも少くない。
◎ 春休みにはいつて、三月末から四月上旬までは、学校の生活指導も一時的にゆるみ、時間的なゆとりも

春は悪の芽ものびる
心の力ギをもう一つ

は、自分は一人前だと思いこんでいるが、実社会の間とくにその七割を占める窃盗、中でも自転車ドロボーやスリの増加が目立っている。

●自転車の被害、県下で日に十台

犯警の被害に必要以上の劣等感におちいつたり、精神的、肉体的過労から病気に倒れる

ある。被害を受ける場所は自宅前の路上、店先など、最も多く、時間は夕方が多い。カギをかけることと、目のとどくところにおくことが大事

◎戸じまりは、目立たぬところにもう一つ

◎新しい憲法

新しい憲法が制定されてからまたたくうちに十一年

◎選挙の歴史

しい現実に自分自身
の在り方も見失
つてぼう然として
いた時、民主主義
の燈火に再び希望
の燃え上がるのが、民

感想文応募作品

道を一步一步あゆみ今日に至つた。国民にあるけれども、實際の政治は、すべての国民が政治を行うわけにはゆかないから、国民によつて選ばれた代表者によつて行われる代議政治が行われている。国民の代表者を選挙による政治を行う最もよい方法

公明選挙

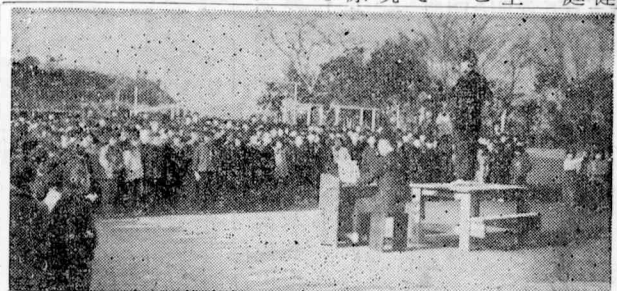
よい選挙あかるい政治を目ざすには

宮脇池之上肇

◎投票の意義

権威は国民に由来する。選挙権の歴史に於て考へてみると、我が國では明治二十三年帝國議會議員の選挙の際には、選挙税十五円以上を納めた者がこれを行使しその福利を享受する。権は直接に国民がこれを享受する。

池田小学校の校歌きまる



池田小学校では、校歌を制定、学校音楽会をかねて二月十四日その発表会をひらきました。

池田小学校校歌

作词 鹿大
作曲 西
蓑手重

1、
か国見み
とみおど
るろりの
、しに原
元まよ
気ゆ

小学
小学
小学
池田

みか2、
んじ
なかせ
中させ
よやら
くかぐ
に水
かなく
をく

はげむほくらわただしら

す3、小学
が 学
たは
ある小
おか学
いな
で空池
よ田
朝 校
女 門

のぞみ大きく
生きる ぼくら
だたく

小学 小学 池田

内といつても戸がしまり
とはいつても戸がしまり
では戸がしまり

隣近所ともよく連絡

洋服、エプロンの外
一番ねられやすい

春の防火運動に当つて

火事のおもな原因は

かまど
えんとつ
の不備からです

いま全国春の防火運動の期間中です。いまごろは乾燥期で、各地で火事、とくに山火事が多いのが毎年の例です。火事はほとんどが不注意からで、かねてから気をつけられど、えんとつ、かまどからの火事がその大半を占めています。

◎えんとつから起る火事

粉、えん、取分、割れ、火事、過熱、破損、火の
 1、えんとつからの火事、過熱、破損、火の
 粉、えんとつからの火事、過熱、破損、火の
 2、えんとつからの火事、過熱、破損、火の

◎ かまどから起る火事

1、かまどのまわりは、よく整とし、燃えやすいものを近くにはおかない

2、かまどの上・五メートル以内に燃えやすいものをおかないこと

消防団ではこの週間に各分団ごとに「かまど、えんこの検査を行う予定です。危険」

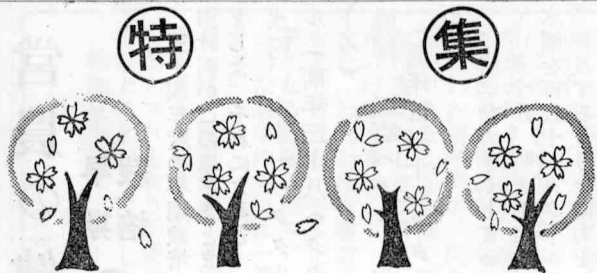
險だと思われるものは、修理、改造をおす
 めずすることになります。
 いままでの例では、なかなか実行されてい
 の付属設備の不十分からは、かまどと、そ
 のことしこそは、火事を未然に防ぐため、ぜ
 ひとします。

大根占町消防団

「三十二年十月」の誤りでありますから訂正します。

もうすぐ1年生

新入学の子どもをもつ家庭へ



よい出発（ツッド・スタート）ということばがあり、願いをもちのことでしも子どもにとつて良いことです。これはなにごとにもよう。ところが、その親心ではありません。ほんとう最初が大事で、最初のすべての表わし方にはいろいろあの親心ならば、こんな極端り出しをよくなければなるようです。子どもの気まな行き方をとるはずがありませんということです。一まなふるまいをそのまま許ません。いつも子どもの味年生は小学校六年間の最初し、わが子の教育はすべて方となり、子ども心に同情的の年ですから、これからの学校に任せきつてゐる親。しながらもさらによりよい小学校生活が楽しく、しか（野放しの家庭）。そうか導きの手を添へるはずでもあります。もうまく出発させたいものに、育ててはならない、きび、そうです。学校の先生とす。しくしつけないで、はならない、家庭での先生としての父に入学したときの印象は、家庭にまで持ち込んで勉強子どもの教育の効果を、よ忘れることのできないものさせようとする親。（持ちりよい生活指導の効果を高めます。同時に、ひたむきな込み、教え込みの家庭）。めて行くようにしたいもの親心として、どなたもわが、これらは全く対象的な親です。

一年生に入学することは、子どもにとつて、大きな前進であり、大きな生活の変化でもあるのです。それだけに、小学校に入学するということをも、もつとも自然に、もつとも有意義にあらせたいものです。一年生に入学したのだからといって、急にいろいろと子どもに注文をつける父母がありますが、子供たちの生活をことごとにしぼりつけますと、精神面までいしゆくしてしまいます。なんの感激

一年生に入校すること、自分の持ち物を一定の場所におく習慣をつけること。給食がひとりですべられ、その前後の始末ができること。便所がひとりですべること。そのほか、先生からのお話を父母に正しく伝えられるようにしつけておきたいものです。

③早寝、早起きの習慣をつけることです。

小学校は朝の始業時間が早いのが普通です。ですから、早寝、早起きの習慣は、いちばん大切なことは、安全交通です。たとえ近道でも、あぶないところは避けて、安全な道を通わせましょう。たとえば、受持の先生とも相談して、毎日通る道を決めておくことも一つの方法ではないでしょうか（雨降りには傘をもつて迎えに行くときも便利ですよ）。

また、学校へ行くとき、近所の友だちをさそうようにするのもよいことです。そして行き帰りは道草を

入学前後にぜひ

●●●
しつ
けて
おき
たい
こと

幼稚園の生活や家庭では、子どもにできないことは、すぐまわりで手伝つてやつたかもしれません。しかし、学校生活では、たとえば、洋服を脱いだり着たりすることは、ひとりでやらなければなりません。新しいランドセルへの本の入れ方、出し方。ランドセルのしめ方、開き方。ランドセルのしよいい方。おろし方、ということ、ひとりででき

よう努めたいものです。

④ 体力を養つておくこ

とです。

入学した子どもの精神面、肉体面の緊張は、予想以上に大きいものです。そのために発熱する子どもさえいるくらいですから、ふだんから十分体力を養つておく必要があります。

はようございます。

朝起きたら、父母、兄弟に
かならずこのことをか
させるようにしたいもの
です。

道や学校で出合った先生
、友だち、知人にも
、元氣よくこのあい
さつをしましょう。

昼間のあいさつ―
「こんにちは」
立ちんぼうのもじも
じでは困ります。

元氣よく、にこやか

生活のなかの

生活のなかの
あいさつ

「ごちそう
さまでした
外出するよきの
あいさつー
いつてきます

一年生の考え方

先生が一番偉い

学校と家庭のつながり

子どもたちは、学校の先生が一番偉いのだと考えています。だからこそ、先生のおつしやることがよく耳にはいるのです。

ところが親から見ると、必ずしも自分の意見と一致するとは限りません。そしてあげくのはては、先生を批判したり、別のしつけをしようとする親がいます。しかしその結果はどうでしょうか

① 子どもはとまどうばかり。

② 親に対して腹だちつぼくなる。

③ 親を絶対だと思う子は、先生のいうことをいい加減に聞くような子どもになる。

いずれにしても、親と教

師の意見のくいちがい、対立は、それが子どもに好ましくない態度となつてあらわれます。

ですから、お父さん、お母さん、できるだけ学校の方針を理解するようにしましょう。家庭としては「先生のおつしやることを守る」ということを、原則としたいものです。

たとえば、子どもの健康にとくに深い注意を払っている家庭では食事の時間をゆつくりするようにしつけているかもしれません。し

始業式の翌日、子どもが帰ってくるやいなや、きょうはどこを習つたの、さあ、習つたところを読んでごらん、などとせつかちに聞く母親がおられます。これは、とんでもないまちがいで

遊びからしぜんに学習へ
— 勉強と遊び —

勉強と遊び

大根占町の人口

總人	口	1	4	8	2	2	3月1日現在
男	1	4	8	2	2	2	
世	1	4	8	2	2	2	
前	1	4	8	2	2	2	
帶	1	4	8	2	2	2	
月	1	4	8	2	2	2	
數	1	4	8	2	2	2	
比	1	4	8	2	2	2	
男	1	4	8	2	2	2	
女	1	4	8	2	2	2	
名	1	4	8	2	2	2	
減	1	4	8	2	2	2	
計	1	4	8	2	2	2	
45	1	4	8	2	2	2	
89	1	4	8	2	2	2	
35	1	4	8	2	2	2	
7	1	4	8	2	2	2	